

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 6 月 3 日作成 第 1.0 版

研究課題名	健診胸部 X 線画像における人工知能支援読影の有用性に関する観察研究
研究の対象	2010 年 4 月～2025 年 4 月の間に横浜市立大学附属病院において胸部 X 線検査および CT 検査を施行し、呼吸器内科で肺がんと診断された患者さんで 40 歳以上の方を対象とします。 また、同期間に横浜市立大学附属病院で胸部 X 線検査および CT 検査を施行し、良性変化もしくは正常肺と診断された 40 歳以上の方も対象とします。
研究の目的	肺がんを対象とし、胸部 X 線画像において、従来の医師 2 名による二重読影と、医師 1 名と AI による二重読影の診断精度を比較することで、AI が第二読影者として臨床的に代替可能であるかを検証することを目的とします。
研究の方法	胸部 X 線画像および胸部 CT 画像データを収集して、肺内の塊の検出能について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 10 月 14 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 10 月 14 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、喫煙歴、既往歴、合併症 ・病理結果 ・画像検査：胸部 X 線検査、胸部 CT 検査
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 核医学診療科 石渡 義之

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	本研究は大日本印刷株式会社から資金提供を受けて実施されますが、研究の立案、研究計画書の作成、研究開始後のデータ収集及びその取扱いの決定、統計解析、結果の解釈に大日本印刷株式会社の社員及びその関係者が関与することはありません。 本研究の利害関係については、横浜市立大学臨床研究利益相反委員会の意見を聴き、適切に利益相反マネジメントを行います。また、本研究の進捗状況等に応じて適宜、横浜市立大学臨床研究利益相反委員会へ報告を行い、本研究の利害関係についての公正性を保つものとし、研究成果公開時には当該利益相反の事実について開示します。
研究組織 （利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 核医学診療科 石渡 義之
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 放射線診断科 （研究責任者・問い合わせ担当者）石渡 義之 電話番号：045-787-2800（代表）	